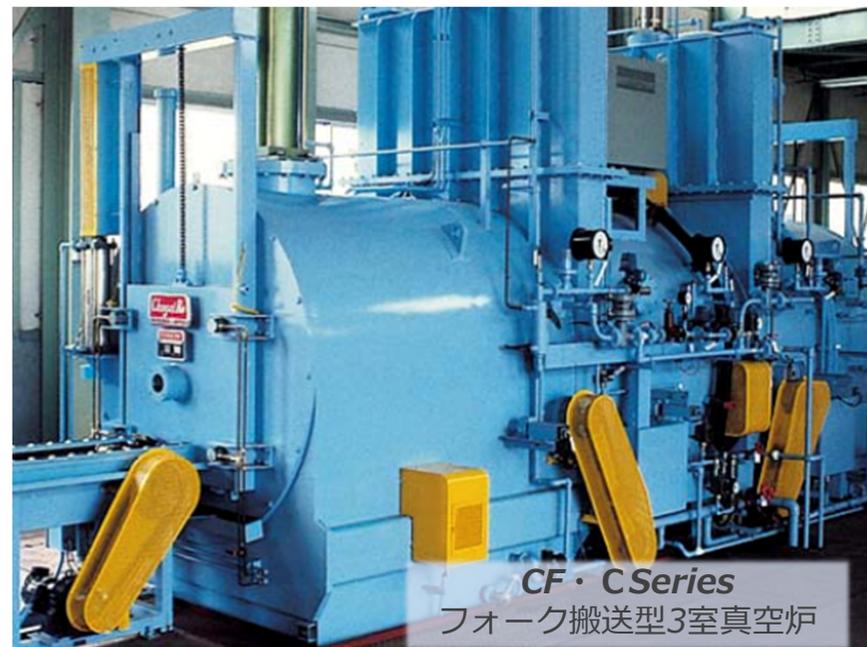


# 中外炉工業の 多室型真空炉

RH Series  
ローラーハース型連続真空炉



CF・C Series  
フォーク搬送型3室真空炉

## <多室型真空炉 | 3つの特長>

01

| 高い生産能力

最大3倍の生産量

02

| 優れた環境性能

消費電力、排出CO2  
最大30%削減

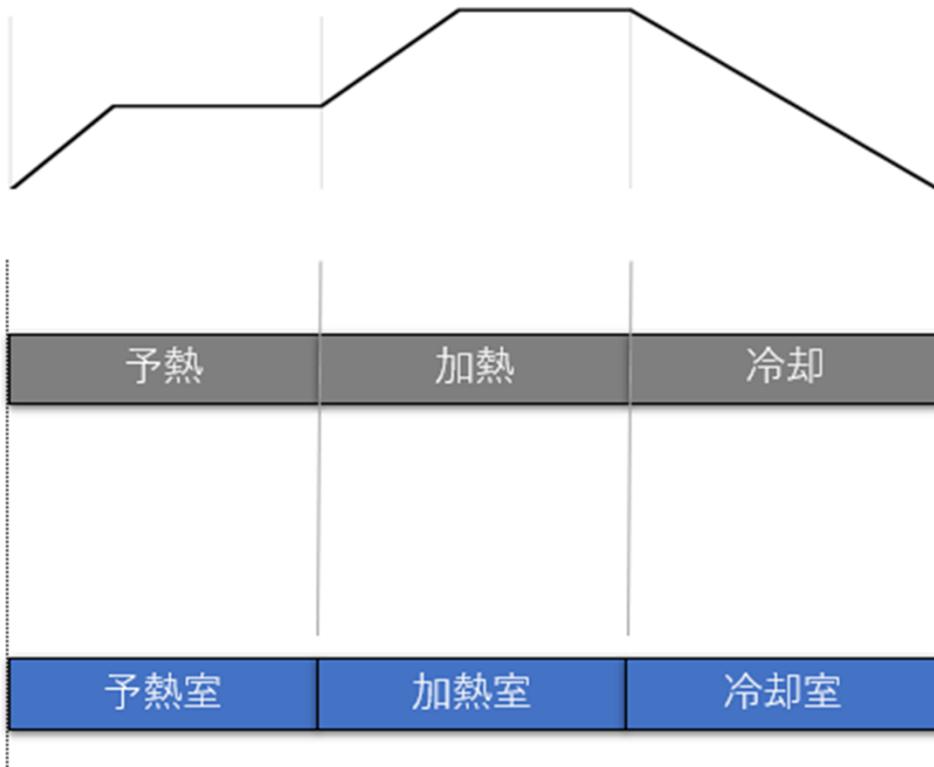
03

| 省人化へ貢献

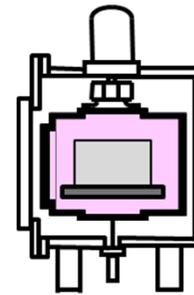
部品寿命が約3倍  
→メンテ頻度が減少

# 01 高い生産能力

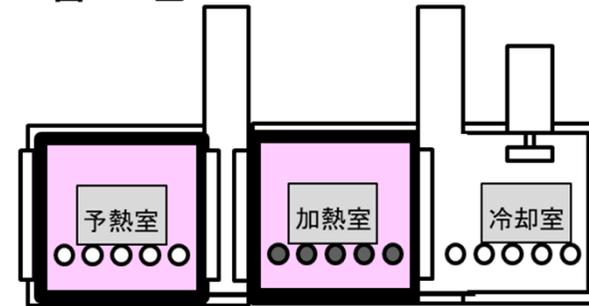
予熱、加熱、冷却の各工程を  
分担することで、生産能力向上  
(標準的なヒートサイクル)



▶ 一室炉比較で**最大3倍※**の生産量  
※ 予熱、加熱、冷却の時間が同じ場合



一室炉であれば、材料抽出迄  
待たないと次材処理できないが、  
多室炉であれば、部屋を移動する  
ことで、連続的に処理が可能

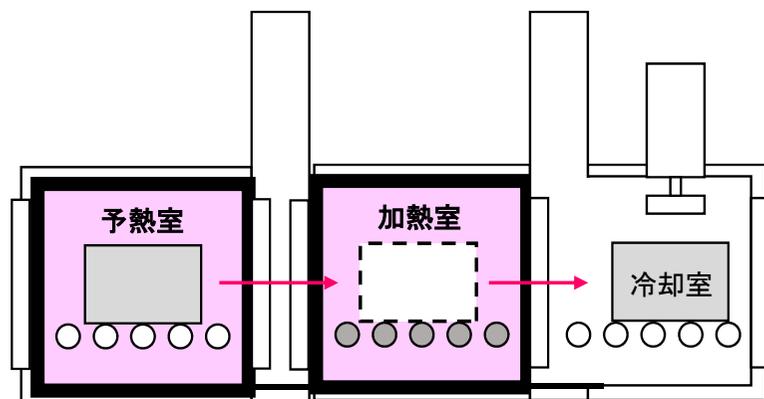


## 02 優れた環境性能

加熱室から処理品搬送後、  
加熱室の温度を保ったまま  
次処理品を投入

▶ 一室炉比較で電力使用量及び  
CO2排出量を**最大30%※削減**

※ ヒートパターンや炉型式により異なります。



一室炉の場合、処理毎に炉を常温迄下げる必要があるが  
多室炉の場合、炉内の温度を保ったまま、  
次の材料を受け入れるので、炉内材料を再加熱しなくても  
良い。

### その他の省エネポイント

- ポイント① 冷却室は専用室でコンパクトで、ガス消費量削減
- ポイント② 冷却時間が短く、ファン運転の為の電力量も削減

# 03省人化へ貢献

多室炉の加熱室は外気から遮断されており、  
また急昇温・急冷されない

▶ 一室炉比較で**部品寿命が約3倍※**  
このため、維持管理が容易になり、  
工場の省人化にも貢献

※ ご使用条件により異なります。

項目	一室炉	多室炉	備考
ヒータエレメントの交換	～2年	～10年	多室炉は加熱室が外気と遮断されているためヒータが酸化消耗し難く、一室炉に比べて長寿命。
断熱材の交換・補修	～5年	～10年	同上。また一室炉は強制冷却による風食で断熱材が損耗するが、多室炉にはそれがない。
インナーチャンバーの更新	～5年	～10年	多室炉のチャンバーは急昇温・急冷されないため傷み難い。使い方によっては30年もつこともある。